

競 技 注 意 事 項

- 2015年 日本陸上競技連盟の規則により競技を行う。
○スターターの合図は英語とする。「On Your Marks」・「Set」

- 招集について

- 招集時間

		招集時間	完了
トラック競技	各種目	40分前	20分前
	選抜	30分前	
フィールド競技	投てき・跳躍	60分前	40分前
	男子棒高跳	90分前	70分前

- 招集は、第3コーナーバックスタンド下で行う。
 - 主競技場への入場は、招集完了後選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機する。
(各人で入場しない。)
 - 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出る。
 - 電子機器類の競技場への持込を禁止する(携帯電話、ミュージックプレイヤー等)。
招集所で持ち物をチェックする。
- トラック競技とフィールド競技を兼ねる選手は、トラック競技を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受ける。
- 5000m競歩は招集所においてナンバーカードを受け取り、前部へ着用し、ゴール後返却する。
個人のナンバーは背中側へ着用する。男女同時スタートとする。
- 女子5000mは男子5000m第3組と同時スタートとする。女子10000mは男子と同時スタートとする。
- バーの上げ方(天候により変更あり)

<走高跳>

	(練習)			(開始)								
男子	1.65	1.90	2.10	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00	2.03	(以後3cm)
女子	1.35	1.50		1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63			(以後3cm)

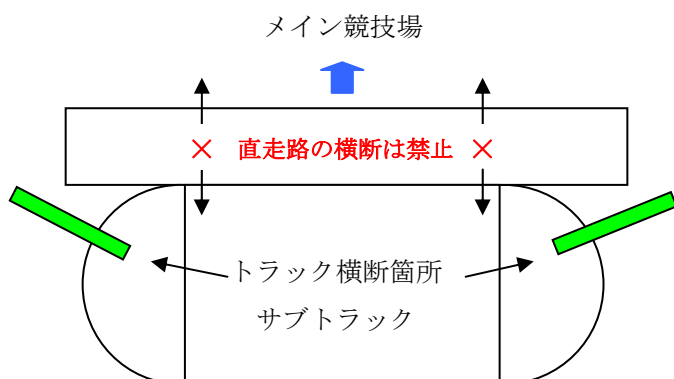
<棒高跳>

	(練習)			(開始)			
男子	3.40	4.00	4.50	3.50	3.70	3.90	(以後10cm)
女子	2.00	2.80	3.30	2.20	2.40		(以後10cm)

7. フィールド計測ライン（天候により変更あり）

	男子	女子
走幅跳	6m20	4m70
三段跳	12m80	10m00
砲丸投	11m00(少年)	8m00
円盤投	32m00(少年)	27m00
ハンマー投	35m00(少年)	
やり投	50m00	32m00

8. トラック競技はタイムレースとする。但し、100m・200m・400m・100mH・110mH・400mH は選抜レース(決勝)を行う。フィールド競技はトップ8方式で行う。
9. 1500m以上の長距離競技において、競技運営に支障をきたす場合は競技を中止させることがある。
10. 走幅跳のピットは、ホームストレートのスタンド側をAピット、走路側をBピット、バック側をCピットとする。また、三段跳のピットは、ホームストレート側をAピット、バックストレート側をBピットとする。
11. スパイクのピンは、全天候性走路のためトラックは9mm、フィールドは12mm以下のものを使用する。
12. 投てきの練習は、主競技場内で実施するので、補助競技場・競技場周辺での練習は厳禁とする。
13. 練習場・招集所への移動は、芝生スタンドを通る。
14. 競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。
15. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。
16. 補助競技場の使用については、次のことを厳守する。
 - ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
 - 1・2レーンは、長距離のペース走専用とする。
 - 3～6レーンは、流し等の専用とする。
 - 7・8レーンはハードル専用とする。
 - 跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
 - 走路及びピットに立ち止まっての指導等をしてはいけない。
 - 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
 - 走路及びピット等を横切るときは、衝突事故に気をつけ、速やかに渡る。
 - 直走路の横断は禁止する。
 - その他、審判員の指示に従う。



17. 雨天練習場については、次のことを厳守する。

- スタンド側の1レーンは、流し専用とする。
- 中央の2レーンは、高速専用とする。
- 外側の1レーンはジョッグ専用とする。
- 走路の横断は禁止する。スタンド及びサブトラックへの移動は、走路に沿って移動し、招集所及び第2ゲート付近から横断をする。
- 全天候性走路上にチームのベンチを設置することは禁止する。



18. その他

- 競技場・観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各チームで責任をもって持ち帰る。
- 更衣室は、更衣のみに使用し、団体のベンチとして使用しない。
- 持ち物の保管は各自で責任を持つ。
- 選手は、ゴール後本部前を通らず、スパイクを脱いでスタンド下の通路を通り退場する。
- 防水塗装保護のため、2階通路上へベンチを設置する場合、ブロック（石等も含む）・粘着テープ等の使用は厳禁とする。
- スパイク等でスタンドを歩かない。
- タープテント等の簡易テントの設置は、バックスタンド及び芝生スタンドのみとする。